

子どもと大人をつなげる公民館

(1) 聞き取り調査の結果

<子ども>

- ・公民館の太陽の広場(キャンプなど)が楽しかった。
- ・身体を動かすことが好き
- ・小学校でチラシが配られて、そこでイベントについて知った。
- ・公民館を遊べる場所にしてほしい。

<大人>

- ・公民館では地域の人がやりたいことや楽しいことをしたい。
- ・みかんの収穫時期は若い人が手伝いに来てくれる。
- ・回覧板や老人会のお誘いでイベントに参加した。
- ・孫がいたときは小学校との関わりがあったけど…。



★調査の結果から考えたこと

- ・地域の人がやりたいことや楽しいことをしたい。
→地域の人に寄り添った公民館にしたい。
→外部への発信よりも、内部のつながりを重視したい。
- ・子どもと大人で来る目的が異なる。
- ・大人主導の活動が多い。
→こども中心の活動があってもいいのでは？



(2) 私たちからの提案

☆「脱出ゲーム」

<目的>

子どもと大人で協力してミッションをクリアしていくことで、つながりや達成感を得ること。

<内容>

子どもと大人で1つのグループを作り、各教室でミッションをクリアする。

<ミッションの内容>

子どもにしかできないミッションや大人にしかできないミッション

子どもも運営の体験ができるようなもの(ルール説明やゲームマスター等)

- 例) ・流行のアニメやゲームについてのクイズ ・地域の歴史についてのクイズ
・縄跳び ○回連続 ・喜佐方のみかん当てクイズ



☆「KISAGATA Cooking」

<目的>

子どもと大人が共同して料理をすることで、つながりや絆を育むこと。

子どもに宇和島の伝統を継承すること。喜佐方の新たな魅力をつくること。

<内容>

- ・宇和島の郷土料理をつくる体験
- ・未来の郷土料理開発
- ・喜佐方のみかんを使った料理のブランド化



作ったものを自分たちだけではなく、地域の方にも食べてもらう。



☆「KISAGATA Sports Festival」

<目的>

身体を動かすことを通して、子どもと大人のつながりや団結力を育むこと。

<内容>

年に数回実施

運動会形式、スポーツ大会形式などニーズや季節に合わせて行う。

○具体的な内容 —スポーツ大会形式—

- ・風船バレー
- ・モルック
- ・eスポーツ
- ・グランドゴルフ
- ・ボッチャ



(3) まとめ

私たちは喜佐方の目指す「ひとづくり・つながりづくり・地域づくり」という地域像をモットーに「子どもと大人をつなげる公民館」のあり方を考えました。地域の人が公民館を活用して「みんなとつながりたい」と思えるような公民館にしたいです。